

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-17	中学校	道 徳	道 徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 704 道徳 705	中学道徳 中学道徳	あすを生きる 1 あすを生きる 1	道徳ノート

1. 編修の基本方針

—自信をもって、よりよくあすを生きるために—

小学校6年間の学びをもとに、中学校3年間で道徳科の学びを一つずつ積み上げながら、一人ひとりがよりよく生きる喜びと誇りをもって、他者と共に社会を創造していく。私たちはそのたすけとなることを願って、教科書を編修しました。

「教育基本法 第2条 教育の目標」を実現するために、次の基本方針を定めました。

基本方針

1

主体的な学びを！

自ら考え、学び、一人ひとりが誇りをもった生き方ができるようサポートします。(第2条1, 2)



基本方針

2

授業に躍動感を！

「考え、議論する道徳」となるよう、対話的な学びをサポートします。(第2条1, 2, 3)



基本方針

3

社会を創造する道徳教育を！

「いま」「これから」の社会の課題にしっかり対応した深い学びをサポートします。(第2条1, 2, 3, 4, 5)



主体的な学びを！

自ら考え、学び、一人ひとりが誇りをもった生き方ができるようサポートします。

1 「こんな生き方もあるんだ！」——感動・共感・思考を喚起する教材

人間が、ときに見せる弱さや苦悩、奮起する強さや気高さ……。生徒に新たな発見をもたらし、一人ひとりが、人間としての誇りある生き方を考えたくなる——そんな教材を選定しました。



(p.110 ~ 111)



(p.114 ~ 115)

2 「よりよい自分になりたい！」——学びの見通しをもち、成長を実感できる工夫

巻頭オリエンテーションのページでは、道徳科で学ぶことや学び方をわかりやすく示し、生徒が主体的に学習を進められるようにしました。

別冊「道徳ノート」を活用することで、学習を振り返り、生徒自身が中学校3年間の成長を実感できるようにしました。



(p.2 ~ 3)

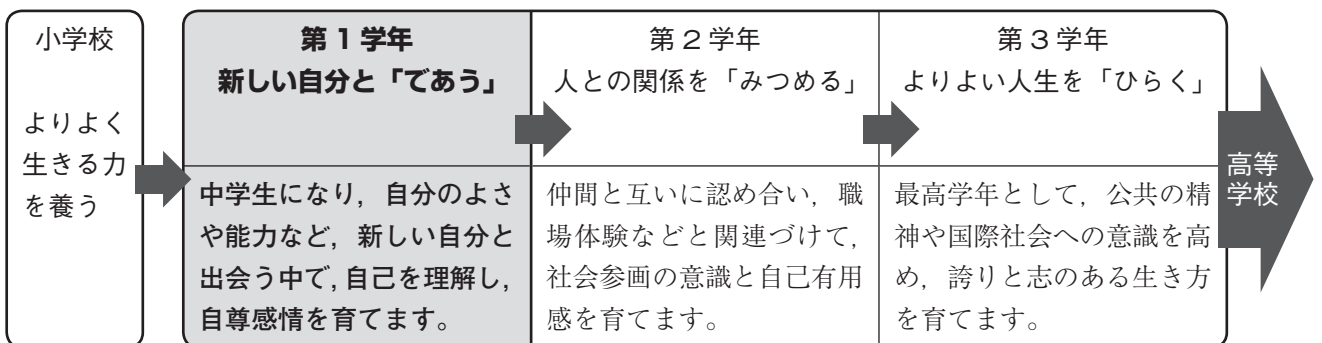


(p.8 ~ 9)

自分に+1
道徳科の学びを前向きに積み上げ、自分に自信がもてるように！

3 「将来にわたって生き方を追求したい！」——系統性への配慮，小，中，高連携

中学校3年間の発達の段階を考慮し、学年ごとにテーマを設定しました。特にキャリア教育の理念に配慮した小，中，高連携について、教材の選定や配列において工夫を加えました。

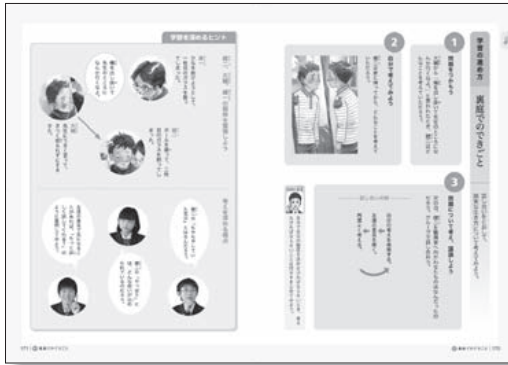


授業に躍動感を！

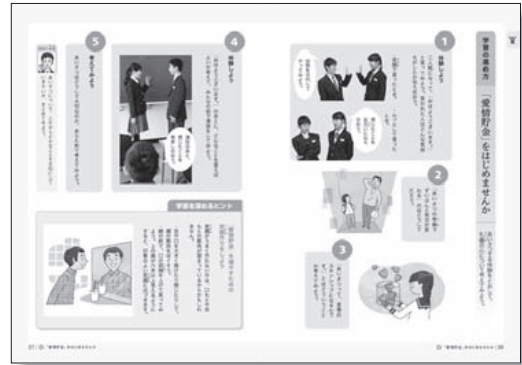
「考え、議論する道徳」となるよう、対話的な学びをサポートします。

1 主体的・対話的で深い学びの実現 ——問題解決的／体験的な学習

「問題解決的な学習」「体験的な学習」の手法に適した教材には、生徒の学びと教師の指導の参考例となるよう、「学習の進め方」を設けています。そして、別冊「道徳ノート」を併用することで言語活動を充実し、多面的・多角的に「考え、議論する道徳」を実現できるようにしています。



(p.170 ~ 171)



(p.26 ~ 27)

2 多彩なコラムで学びを広げ深める

道徳科以外の学習での活用や他教科との関連を意識した「プラットフォーム」や、教材の内容理解に役立つ「参考」で、生徒が互いにより深く楽しく考え合えるようにしました。



(p.108 ~ 109)



(p.48 ~ 49)

3 効果的なデジタルコンテンツ

のアイコンが配置された教材には、授業の導入や展開で効果的に活用できる参考動画や関連画像などを、ウェブページ上にデジタル教材として準備しました。必要に応じて活用することで、生徒が興味・関心をもって学習に取り組むことができるようにしています。



(p.110 ~ 111)



社会を創造する道徳教育を！

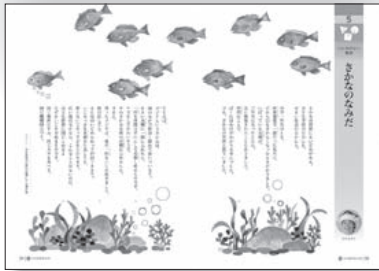
「いま」「これから」の社会の課題にしっかり対応し、深い学びをサポートします。

1 現代的・社会的課題への対応

これからの社会を創造していく生徒たちが、自分の生き方に誇りをもち、他人ごとではなく自分のこととして考えられるようにするとともに、教育基本法の理念に呼応した諸課題について、テーマごとに教材を選定しました。

① 「いじめ」と向き合う

いじめを人間として許さない、誇りある生き方について考える内容を取り上げています。



(p.30 ~ 31)

② よりよい社会と私たち

キャリア教育に関連し、社会参画の意識や公共の精神をもってよりよい社会をめざす内容を取り上げています。



(p.62 ~ 63)

③ いのちの大切さ

生命の尊さについて、その連続性と有限性などを含めて深く考える内容を取り上げています。



(p.142 ~ 143)

④ 安全に生きる

防災、生活安全、交通安全など安全教育に関わる内容を取り上げています。



(p.66 ~ 67)

⑤ 情報モラル

情報活用能力の育成に向け、遵法精神などの内容を取り上げています。



(p.94 ~ 95)

⑥ 環境

自然愛護や自然への畏敬の念、持続可能な開発のための教育（ESD）に関わる内容を取り上げています。



(p.114 ~ 115)

⑦ 伝統・文化

我が国の伝統や文化の重要性、それを受け継ぎ発展させていく心に関わる内容を取り上げています。



(p.136 ~ 137)

⑧ 国際理解

日本に生きる一員としての自覚をもち、国際社会に貢献し、協調していく内容を取り上げています。



(p.104 ~ 105)

2. 対照表

教育基本法第2条に示された教育の目標に基づき、多面的・多角的な知識と教養、豊かな情操と道徳心、伝統・文化を大切にす心、自己を見つめ社会を創造する豊かで広い公共の精神を育むため、多様な教材の選択と構成に意を用いました。

第2条との対照	構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1, 2号	巻頭ページ	もくじ, オリエンテーション	もくじでは, 教材の配列や教科書の使い方などを生徒にわかりやすく示しました。	表見返し～p.1
第1, 2号			オリエンテーションページでは, 「道徳科で学ぶこと」で学習内容やそのねらいなどを端的に記し, 「道徳科での学び方」で学習方法を解説し, 学習の支援になるよう配慮しました。	p.2～5
第1号	本文	共通事項	教材で扱う題材は, 発達の段階を踏まえながら, 家庭, 学校, 社会の幅広い分野のものをバランスよく配列しました。	全 般
第1～5号			学習指導要領への準拠性を重視し, 道徳的価値に関するすべての内容項目を扱いつつ, 重点とすべき内容項目を集中的に取り上げました。	全 般
第3～5号			道徳教育における現代的な課題を重視し, いじめの防止, 生命の尊重, 社会参画, 伝統と文化, 国際理解などの内容や道徳的価値を取り扱う教材に重きをおきました。	全 般
第1号			正確な記述で, 生徒が読み取りやすく, 教師にとっても指導しやすい紙面構成としました。	全 般
第1～3号			問題解決的な学習の進め方	問題解決的な学習に資するよう, 道徳的な問題を主体的にとらえ, 多面的・多角的に考え, 解決していくステップを例示し, 道徳性を育成するための手引きとなるページを提示しました。
第1～3号	体験的な学習の進め方	体験的な学習に適している教材には, 動作化や役割演技などの体験的な学習をとおして, 自分との関わりで道徳的価値についての考えを深めるためのページを提示しました。	p.26～27 など	
第1～5号	コラム	プラットフォーム	教材で示される内容などをより多面的・多角的に考えることができるページとして, 関係する教材の前後に配置しました。	p.12～13 など
第1～5号	コラム	参 考	教材理解に役立つ参考資料として, 関係する教材の後に配置しました。	p.11 など
第1, 2号	別 冊	道徳ノート	別冊としてノートをつけ, 書く活動をとおして生徒が思考をより深めることができるようにするとともに, 教師の指導や評価にも生かすことができるよう工夫しました。	別 冊

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 特別支援教育の視点から見た配慮

すべての生徒が等しく学べるように、特別支援教育の視点から、カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインなど、次のような配慮をしました。

- ① UD フォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、文字の大きさ、罫線や囲みの使い方、配色など、レイアウトを工夫し、読みやすくしました。
- ② 中学校で学習する漢字には、教材ごとにすべて振り仮名をつけました。



2 保護者への配慮 —— 家庭、地域との連携

「道徳科」がどのような教科なのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかを、巻頭などのメッセージ性の強い紙面で保護者にも伝え、学校・家庭・地域の連携を支援するようにしました。

3 地域社会への配慮 —— 地域に根差した教材の選定・開発

日本の各地域の魅力的な教材を取り上げ、生徒が実感を伴って学習できるようにしました。

4 環境への配慮 —— 環境にやさしい教科書作り

地球環境への負荷に配慮して、教科書用紙には再生紙を使用し、植物油インキを用いて印刷しました。

5 生徒への配慮 —— 持ち運びの負担を軽減

生徒の負担を軽減するため、教科書用紙の軽量化を図りました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-17	中学校	道 徳	道 徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 704 705	中学道徳 中学道徳	あすを生きる 1 あすを生きる 1	道徳ノート

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色
1

「学習の流れ」が見える

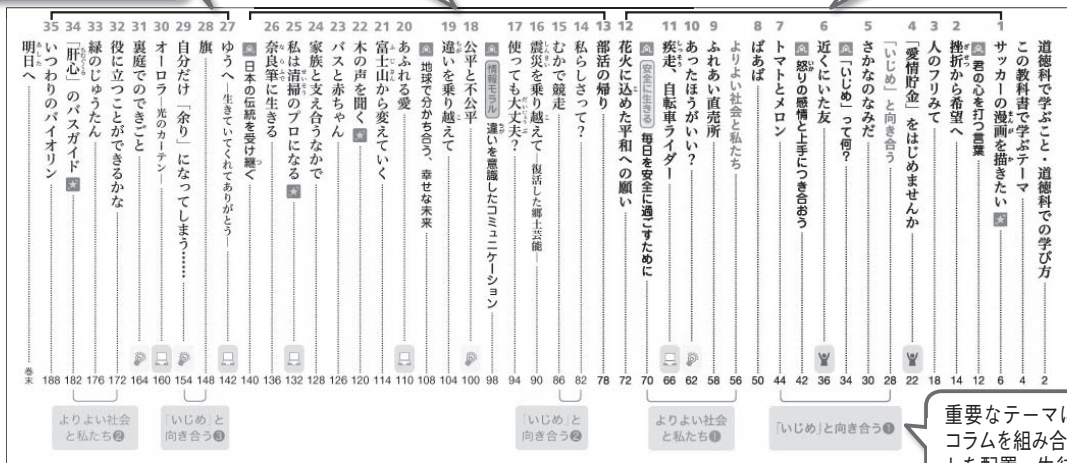
1 学ぶべきときに、学ぶべき内容を配置したことで、1年間の流れが見える

生徒が主体的に取り組めるよう、発達の段階などを踏まえて身近な教材を選定し、適切な時期に配列しました。また、「『いじめ』と向き合う」「よりよい社会と私たち」という重要なテーマについては、1年間に複数のユニットを配置しました。

1～3月…1年間のまとめや、次の学年につながる教材を配列。

8～12月…充実した集団生活を送れるように、友情や規則に関わる教材を配列。

4～7月…中学校生活に希望がもてるような教材や、礼儀などの人間関係に関わる教材を重点的に配列。



(表見返し～p.1)

重要なテーマには、教材やコラムを組み合わせたユニットを配置。生徒の実態に応じた授業を展開できます。

2 「3つのステップ」で1時間の学習の流れが見える

友達や教師と一緒に考え合い、豊かな対話が生まれるように、学習要素を設定しました。

2 考え、議論する、深める

考えてみよう

考え議論し、ねらいに迫るための発問例です。

3 見つめる、生かす

自分に+1

この授業で学んだことを前向きに生かすための発問例です。



主題名

この教材で「何を考えるのか」を明示。導入発問としても活用できます。

1 気づく

登場人物

登場人物を紹介することで、内容把握を助け、議論する時間を確保しやすくしています。

3 「学習の進め方」で躍動感あふれる授業ができる

「問題解決的な学習」「体験的な学習」に適した教材には、参考例として「学習の進め方」を設け、授業の展開をイメージしやすくしました。



(p.64 ~ 65)

「問題解決的な学習」の進め方

学習のステップを示すことによって、迷わず学習を進められるようにしています。



(p.40 ~ 41)

「体験的な学習」の進め方

中学生の発達の段階を考慮し、1時間で無理なく実施できる体験的な活動を精選しています。

特色
2

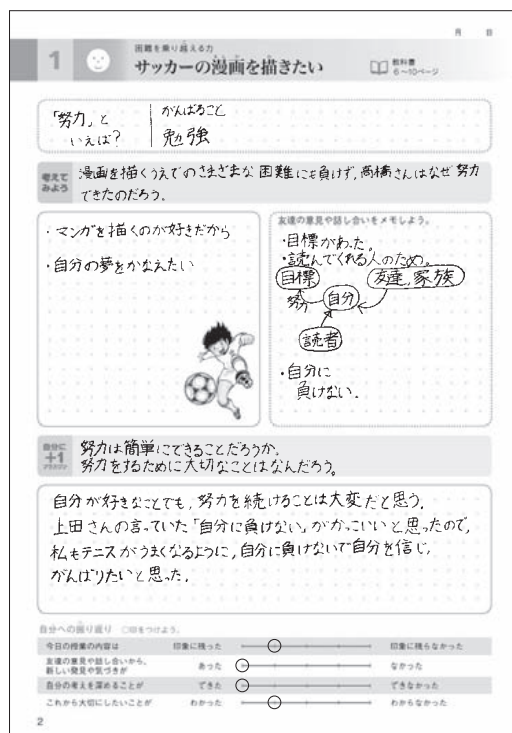
別冊「道徳ノート」で心の成長を記録する

1 話し合いたくなる，自由に使える

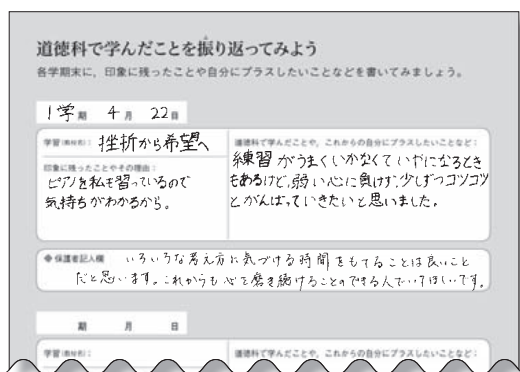
- ・別冊の「道徳ノート」は、1教材1ページで構成しています。発問欄を空白にすることで、より自由な授業展開にも対応しています。
- ・友達の見解を記入する欄を設け、多面的・多角的に考えられるように配慮しました。

2 生徒一人ひとりの成長を励ますことができる

- ・生徒は、「道徳ノート」に自分の考えなどを書くことで、道徳科の学びを積み重ね、自らの成長を実感できます。また教師にとっても、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握できるようにしました。
- ・生徒が自ら考え、議論し、新しく発見した道徳的価値の理解や他者から学んだ内容を書き留めることで、自己評価を計画的・発展的に進めることができるようにしました。
- ・学期ごとに振り返り欄を設け、自らの成長を実感できるようにしました。



(p.2)

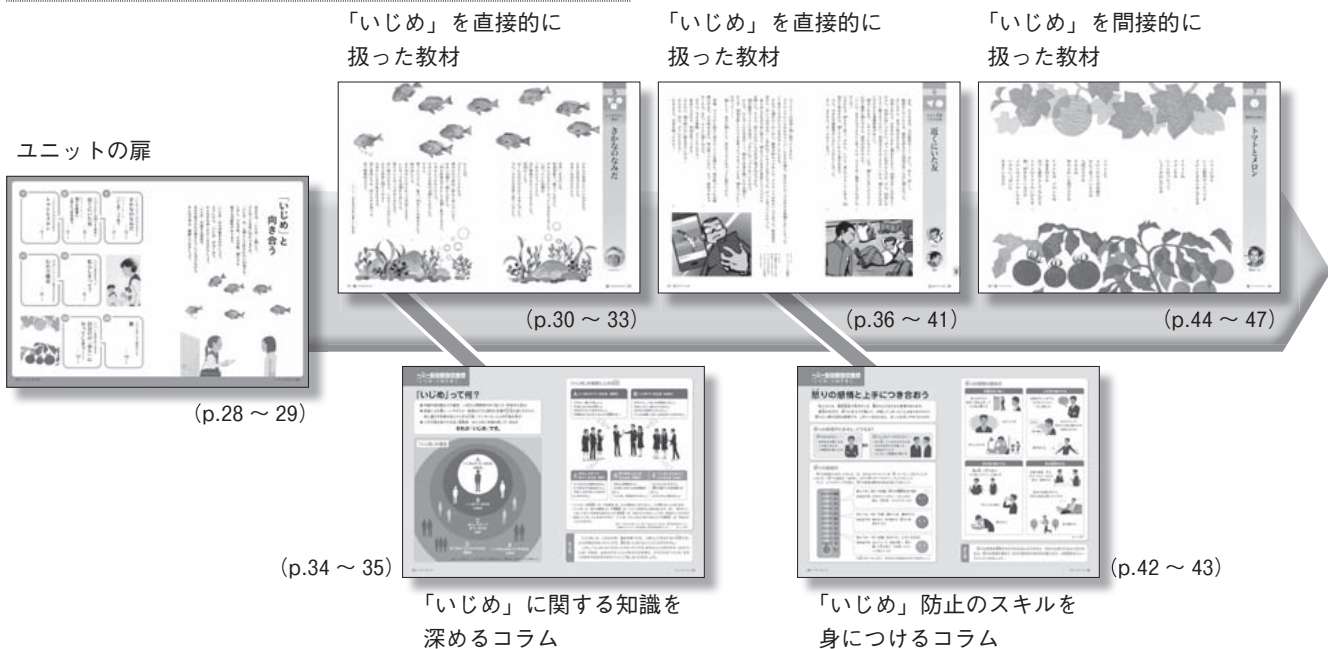


(p.40)

「いじめ」と向き合う ユニット

「いじめ」を自分たちの問題として主体的に考え議論できるよう、多様な教材やコラムをユニット化し、年間で複数配置しました。

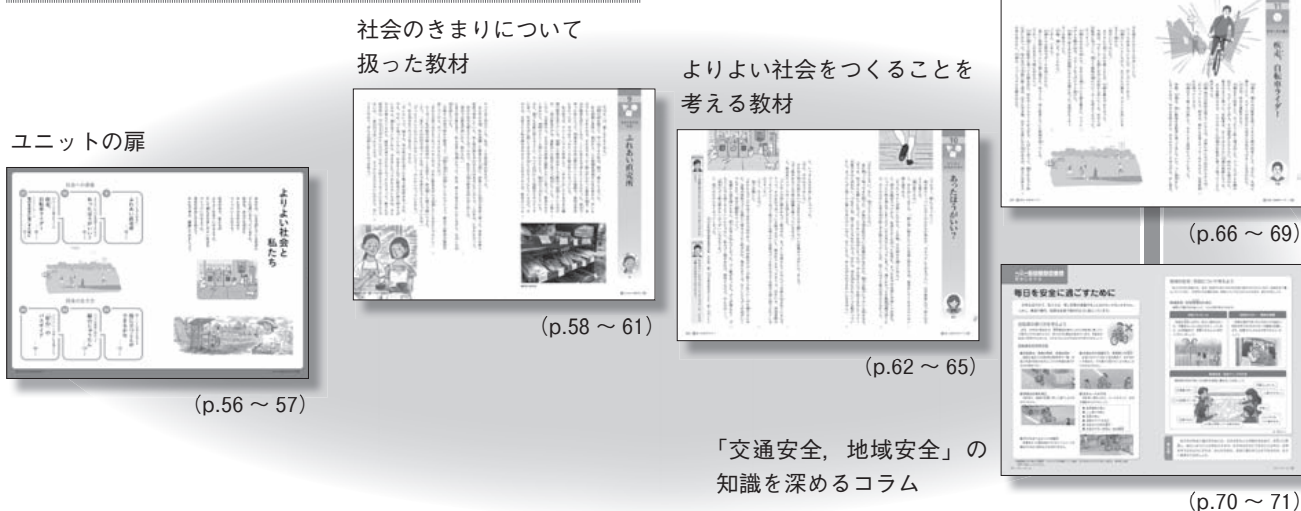
ユニットの基本構成 (例 「いじめ」と向き合う①)



よりよい社会と私たち ユニット

これからの社会を担う生徒たちが、よりよい社会の実現について自分のこととして考え取り組んでいけるよう、「社会に開かれた教育課程」を念頭にユニット化しました。社会参画、勤労に関わる教材を中心に、年間で複数配置しています。

ユニットの基本構成 (例 よりよい社会と私たち①)



〔教科書の特色表〕 ※教科書の特色を簡潔にまとめてあります。

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成をめざした教科書としています。 ①広い知識・教養と豊かな人間性②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神③公正公平と公共心④自然愛護、環境保全⑤伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、親善の心
		学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし、指導すべき事項として示された内容項目はすべて扱い、さらに重点事項や配慮・留意事項を重視しています。
	公正性	公正性	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを、十分に吟味・検証しています。
		正確性	<ul style="list-style-type: none"> ・検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統性	発達の段階への配慮（小、中、高連携）		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達の段階を考慮した内容とし、1年間や中学校3年間を通した系統性に配慮しました。 ・「小、中、高」の連携にも配慮し、よりよく生きる喜びを実感し、国家・社会の一員として社会参画の意識を育てる内容としました。(p.14~17, p.114~119など)
	配列・分量・他教科等との関連		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達の段階に応じて、内容と文字量を考慮しました。 ・他教科等の学習や、様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・学習計画や見通しが立てやすいよう、一覧性のあるもくじにしました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が感動と共感をもって、興味・関心を高めることができるよう、生命の尊厳、自然保護、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材を教材として用いました。 ・生徒が自主的、主体的に学びやすいよう、テーマと発問例を教材ごとに示しました。 ・「道徳ノート」(別冊)で学習を振り返り、生徒自身が成長を実感できるようにしました。
	多様な学習の実現		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習に対応できるよう、「問題解決的な学習」「体験的な学習」に適した教材のページには「学習の進め方」を例示しました。(p.64~65, p.26~27など)
	重点課題	現代的・社会的課題への対応（いじめ・情報モラルほか）	<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全の確保（防災・防犯・交通安全）」「情報モラル」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。(p.28~49, p.66~71, p.94~99など)
		伝統・文化の尊重と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統・文化の尊重と国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味をもたせ、国際理解・親善に関心を促す教材を用意しました。(p.104~107, p.90~93など)
		社会の持続可能な発展	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、発達の段階に即して道徳的な観点から取り扱いました。(p.114~119など)
その他の現代的・社会的な課題		<ul style="list-style-type: none"> ・「社会に開かれた教育課程」を実現できるよう、教材選定やテーマ設定を工夫しました。 ・食育・健康教育、消費者教育、法教育、キャリア教育などの社会的課題も取り扱っています。 	
その他	家庭学習への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」(別冊)は、家庭学習との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして発信し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。
	地域教材の活用・開発		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
	他教科・活動との関連		<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の要としての特質に鑑み、学校生活を踏まえた教材配列、各教材に関連する他教科・活動の巻末明示など、カリキュラムマネジメントの充実化に役立つよう配慮しました。
	デジタル教材の活用		<ul style="list-style-type: none"> ・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。
	特別支援教育の観点からの配慮（CUDなど）		<ul style="list-style-type: none"> ・すべての生徒が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。
	判型		<ul style="list-style-type: none"> ・B5判を採用し、付属の道徳ノート（B5判）と併せて取り扱いやすくしました。
	文字・印刷・製本		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習する漢字には、すべて振り仮名をつけました。 ・文字は、ユニバーサルデザインに配慮し開発されたUDフォントを使用しました。 ・本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、表紙にはコート紙を用いて美観のあふれた外観にします。 ・植物油インキを用いて印刷し、製本は堅牢なあじろ綴じとし、開きやすくしました。

2. 対照表

第1学年

図書の構成				学習指導要領の内容項目とキーワード		配当 時数	配当学期
番号	頁	テーマ	教材名				
1	6～10	スポーツ	サッカーの漫画を描きたい	A-(4)	希望と勇気, 克己と強い意志	1	一学期 12時間
2	14～17	いのちの大切さ	挫折から希望へ	D-(22)	よりよく生きる喜び	1	
3	18～21		人のフリみて	B-(6)	思いやり, 感謝	1	
4	22～27		「愛情貯金」をはじめませんか	B-(7)	礼儀	1	
5	30～33	「いじめ」と向き合う	さかなのなみだ	C-(11)	公正, 公平, 社会正義	1	
6	36～41	「いじめ」と向き合う 情報モラル	近くにいた友	B-(8)	友情, 信頼	1	
7	44～47	「いじめ」と向き合う	トマトとメロン	A-(3)	向上心, 個性の伸長	1	
8	50～55	いのちの大切さ	ばあば	D-(19)	生命の尊さ	1	
9	58～61	よりよい社会と私たち	ふれあい直売所	C-(10)	遵法精神, 公德心	1	
10	62～65	よりよい社会と私たち	あったほうがいい?	C-(12)	社会参画, 公共の精神	1	
11	66～69	よりよい社会と私たち 安全に生きる	疾走, 自転車ライダー	A-(2)	節度, 節制	1	
12	72～77	伝統・文化 国際理解	花火に込めた平和への願い	C-(18)	国際理解, 国際貢献	1	
13	78～81		部活の帰り	B-(8)	友情, 信頼	1	一学期 14時間
14	82～85	「いじめ」と向き合う	私らしさって?	A-(1)	自主, 自律, 自由と責任	1	
15	86～89	「いじめ」と向き合う	むかで競走	C-(15)	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1	
16	90～93	安全に生きる 伝統・文化	震災を乗り越えてー復活した郷土芸能ー	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	1	
17	94～97	情報モラル	使っても大丈夫?	C-(10)	遵法精神, 公德心	1	
18	100～103		公平と不公平	C-(11)	公正, 公平, 社会正義	1	
19	104～107	国際理解	違いを乗り越えて	C-(18)	国際理解, 国際貢献	1	
20	110～113	いのちの大切さ 国際理解 先人に学ぶ	あふれる愛	D-(19)	生命の尊さ	1	
21	114～119	環境	富士山から変えていく	C-(12)	社会参画, 公共の精神	1	
22	120～125	環境	木の声を聞く	D-(20)	自然愛護	1	
23	126～127		バスと赤ちゃん	B-(6)	思いやり, 感謝	1	
24	128～130		家族と支え合うなかで	C-(14)	家族愛, 家庭生活の充実	1	
25	132～135		私は清掃のプロになる	C-(13)	勤労	1	
26	136～139	伝統・文化 先人に学ぶ	奈良筆に生きる	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	1	
27	142～147	いのちの大切さ 安全に生きる	ゆうへー生きていてくれてありがとうー	D-(19)	生命の尊さ	1	
28	148～153	「いじめ」と向き合う	旗	B-(8)	友情, 信頼	1	
29	154～159	「いじめ」と向き合う	自分だけ「余り」になってしまう……	B-(9)	相互理解, 寛容	1	
30	160～163	環境	オーロラー光のカーテンー	D-(21)	感動, 畏敬の念	1	
31	164～171		裏庭でのできごと	A-(1)	自主, 自律, 自由と責任	1	
32	172～175	よりよい社会と私たち	役に立つことができるかな	C-(13)	勤労	1	
33	176～181	よりよい社会と私たち スポーツ	緑のじゅうたん	A-(5)	真理の探究, 創造	1	
34	182～185	よりよい社会と私たち 伝統・文化	「肝心」のバスガイド	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	1	
35	188～191		いつわりのバイオリン	D-(22)	よりよく生きる喜び	1	三学期 9時間
						計	

[備考]

・表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第3章第2の内容を表す。Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」を示す。

